

研究交流会「職業教育学会で障害者の職業訓練・就業について論じる意味」

世話人：片山勝己（中国四国地区部会）

1. 今回企画に至った経緯

中国四国地区部会では、2021年9月より、月に一度サロンと称して情報交換会をオンラインで実施している。2022年2月14日に学会外から熊野花子さん（7月17日時点、本学会入会審査中/仮入会状態）を招き、「働きたくても働けない私の職業観」と題してゲストスピーチ（話題提供）をいただいた。熊野さんは二十歳前に難病を発症され、現在も車椅子生活を送られている。一度も働いた経験は無く、緊急入院も多い方である。しかし、努力されて放送大学にて修士号を得られた。熊野さんのゲストスピーチがとても好評で、下表に示すように計4回のご登壇をいただいた。

職業教育学会＞中国四国地区部会＞サロン 実績表(抜粋)

毎月第2月曜日 20:30～21:30

*:参加者数

回	開催日	ゲスト	ゲストスピーチ タイトル	*	備考
5	2022/2/14	熊野花子	働きたくても働けない私の職業観	4	初めてゲストスピーカーを呼ぶ
6	2022/3/14	熊野花子	働きたくても働けない私の職業観	8	
7	2022/4/11	熊野花子	働きたくても働けない私の職業観	4	ゲスト緊急入院のため片山勝己代読
9	2022/6/13	熊野花子	障害者から見た職業意識と実践とは	5	3/14の簡単なレビューと質疑応答

このサロン参加者から下記のご意見・ご感想をいただいた。

- ・障害者の置かれている就労状況や福祉制度について、あまりに自分が無知なことが分かった。もっと勉強しないと！
- ・障害者にやさしい、職業教育とは健常者にとっても優しい職業教育であるはずだ。ゆえに、職業教育学会で障害者の職業教育を論じることは意味深い。
- ・障害者のことは健常者である自分には関係ない…と考えてはいけない。自分も事故等にあい、明日障害者になるかもしれない。家族・親戚に障害者がいない人でも、友人・仲間には障害者が必ずいるはずだ。そんな人への隣人愛も大切だ。「障害者問題」を「自分ごと」として考えるべきだ。
- ・熊野さん、働いてみては？専門学校等の教壇に立てるのでは？そのために何が必要かを考えて、準備・実行するべきだ。私も手伝いたい。

上段の意見・感想をさらに深めるため、本年度の大会（宇都宮大学）において、本部会を開催することとした。

2. 障害者に焦点あてた、職業教育学の動向・過去経緯

障害者に関する職業教育をWEB検索したところ、障害者団体（主に障害者の親や支援者）が障害者の職業教育・自立支援について熱く語り、多くの論文・書籍を出している…ことが分かった。一方、本来職業教育全般を論じるべき、職業教育学会では「障害者に焦点をあてた議論・論文」はさほど多いとは言えない。同学会での議論の大半は健常者を主眼にした職業教育となっている。これを、適切な専門・領域分け…として容認・許容するか否かが大きな論点となる。

3. 本学会への提案・問題提起 ～二つの「仮に」

仮に、2項の現状を問題あり、または理想像ではない…とした場合、職業教育学会で障害者を対象とした職業教育を今より多く・強く論じたら、どのような効果が生じるかを考えてみる。有効な教育となるのではないだろうか？障害者にとって優しい・有効な教育とは、単に障害者のための教育ではなく、健常者のためにも有効な教育であり、ひいては社会全体障害者にとって優しい・有効な教育とは、健常者にとっても優しくて、にとって有益な教育になるのではないだろうか？

仮に、職業教育学会の専門部会の中に「障害者職業教育部会」ができた場合、どのような活動・効果が期待できるのだろうか？

4. 10月15日（土）午前に宇都宮大学で

3の議論・意見交換の、きっかけとなる大会中イベントを、地区部会、中国四国地区部会で企画・実施し、本学会全体への問いかけ・提案としたい。

合わせて、学会イベントに学会外の方、特にアカデミア（職業研究者）ではない一般市民や、さらには職業教育を受ける側の当事者等が参加することの、意味や可能性、さらには留意点について意見交換したい。ここから職業教育学会における「シチズンサイエンス/市民科学」(*)や当事者研究が始まることを願っている。

企画・準備： 片山 勝己（マツダ（株）勤務、放送大学学生）

日時： 2022年10月15日（月）10:30～12:00(90分)

開催形式： ZOOMで行うサロン形式を基本とし、
宇都宮大学でのリアル面談を併用する。

コメンテーター： 平田 真一

司会： 片山 勝己

* 日本学術会議 提言

「シチズンサイエンスを推進する社会システムの構築を目指して」

<https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-24-t297-2-abstract.html>

5. 関連情報

本イベントの前準備として、毎月第2月曜日の20:30~21:30に実施しているZOOMサロンで、下表のプライベートを行います。こちらにもぜひご参加ください。

回	開催日	ゲスト	タイトル・内容
13	2022/9/12	熊野花子 ※	今まで本学会で、障害者向け職業教育はどう議論されてきたか？ 先行研究吟味 本学会で今まで障害者教育はどのように論じられてきたか？ 熊野、片山はこれら論文をどう読んだか？
15	2022/10/10	熊野花子 ※	熊野花子さんについてもっと知ろう (車椅子障害者、10/16に自由研究発表予定) 大会中部会用の前座的自己紹介： 病歴、学歴、研究テーマ等 (学会員向けに開示していい範囲で)
17	2022/11/14	無し	22年度、学会大会(@宇都宮大学)での部会(10/15)の振り返り

※ 熊野/片山20分対談後、参加者との質疑応答

また、熊野さんは今回大会で下記の自由研究発表をされる予定です。

「障害者から見た職業意識と実践とは」 10月16日(日)午前

6. 本件照会先

中国四国地区部会事務局：片山勝己 (byi21403 <@> nifty.com)

以 上